答え 5月26日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



風呂カビ予防の日にちなんで「カビのクイズ」

【第1問】カビがいちばん増えやすいのは、どのくらいの温度でしょう？

① 5度くらい　② 20～30度くらい　③ 50度以上

カビは、20～30度くらいのあたたかさで、湿気が多いと増えやすくなります。梅雨から夏のお風呂場は、まさにカビの好む場所なのです。

【第2問】パンやおもちに生えたカビ。どうするのがよいでしょう？

① カビの所をけずって食べる　② 焼けば食べてよい　③ 食べないほうがよい

カビは、見えている所だけでなく、食べものの中まで根をのばしていることがあります。カビが作る毒には熱に強いものもあるので、もったいなくても食べないほうが安心です。

【第3問】お風呂場で、カビのもとが残りやすいといわれる場所は？

① 床　② 天井　③ 鏡

お風呂の天井は手が届きにくく、湿っていて、カビが残りやすい場所です。天井のカビが胞子（ほうし）を飛ばして、壁や床に広がることもあるといわれます。

【第4問】お風呂から上がったあと、カビをおさえるためにするとよいことは？

① 閉めきって湯気をためる

② お湯のふたを開けておく

③ 壁を流して水気をとり、換気

入浴のあと、壁をシャワーで流して石けんのよごれを落とし、水気をふいて換気扇を回すと、カビの栄養と湿気が少なくなります。

【第5問】かつおぶし作りで、うまみを出すためにわざとつけるものは？

① カビ　② 塩　③ 砂糖

かつおぶしの中でも「枯節（かれぶし）」は、よいカビをつけて水分をぬき、うまみを引き出します。みそやしょうゆ、日本酒に使う「こうじ」も、カビの仲間です。

【第6問】部屋の湿気やカビを外に出すには、窓をどうあけるとよい？

① 2か所あけて風の通り道を作る　② 1か所を少しだけ　③ あけずに閉めきる

向かい合う2か所の窓をあけると、風の通り道ができて、部屋の湿気やカビの胞子が外へ出ていきやすくなります。晴れた日の朝に、窓をあけて風を通しましょう。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます